

株主の皆様へ

第148期 中間報告書 2019年4月1日~2019年9月30日





New Japan Chemical Co., Ltd.

証券コード:4406





「まだ見ぬ化学に挑戦する」企業として、 次の100年も社会を豊かにするもの創りを続けてまいります。

代表取締役 社長執行役員 藤本万太郎

経営理念

私たち新日本理化グループは、もの創りを通して広く社会の 発展に貢献します。

- ○もの創りにこだわり、安定した品質の製品を安定して供給 することにより、顧客の信頼に応えます。
- ○最先端の化学技術に挑戦し、地球環境に調和した製品を 開発します。
- ○安全な職場環境を確保し、活力ある働きがいのある職場 を創ります。
- ○健全かつ透明度の高い経営に努め、ステイクホルダーズの理解と信頼を深めます。

財務ハイライト(連結)







事業の概況

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り 厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第148期第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響等により不透明感が強まっており、設備投資等において減速傾向が見られるなど、景気は横ばいで推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、既存事業および受託事業の拡大、収益力強化のための取り組みを 進めるとともに、水素化技術をはじめとするコア技術を用い た新製品の研究開発を加速するなど高収益体質の構築を進め ました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は133億9千7百万円(前年同四半期比5.0%減)と

なりましたが、損益面ではコスト削減に努めた結果、営業利益 3億1百万円(前年同四半期比79.3%増)、経常利益4億4千9 百万円(前年同四半期比72.7%増)、親会社株主に帰属する四 半期純利益3億5千8百万円(前年同四半期比92.6%増)を計 上する結果となりました。

中間配当につきましては、業績および財務状況、今後の経済 情勢等を総合的に勘案し、見送りとさせていただきたく、ご了 承賜りますようお願い申し上げます。

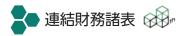
当社は本年11月10日に創立100周年を迎えました。創立より現在までの100年間の歴史を支えていただいた株主の皆様に深く感謝申し上げます。次の100年も、化学の力で更に豊かな社会を実現できるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(百万円) 第2四半期累計期間 通 崩 期 573 600 420 358 400 415 186 200 △200 △214 △400 △600 - - △547 第145期 第146期 第147期 第148期







●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,841	17,813
固定資産	16,385	16,952
有形固定資産	8,483	8,566
無形固定資産	39	43
投資その他の資産	7,863	8,342
1 資産合計	33,227	34,765
負債の部		
流動負債	10,582	11,802
固定負債	7,892	8,211
2 負債合計	18,475	20,014
純資産の部		
株主資本	12,972	12,613
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,246
利益剰余金	3,235	2,877
自己株式	△ 0	△ 171
その他の包括利益累計額	846	1,208
その他有価証券評価差額金	1,558	1,836
為替換算調整勘定	△ 667	△ 580
退職給付に係る調整累計額	△ 44	△ 47
非支配株主持分	933	929
3 純資産合計	14,751	14,751
負債・純資産合計	33,227	34,765

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	前第2四半期(累計) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上高	13,397	14,098
売上原価	10,920	11,839
売上総利益	2,477	2,258
販売費及び一般管理費	2,176	2,090
営業利益	301	168
営業外収益	180	135
営業外費用	32	43
経常利益	449	260
特別利益	_	9
特別損失	3	16
税金等調整前四半期純利益	446	253
四半期純利益	379	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	358	186

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	前第2四半期(累計) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,421	196
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 564	△ 477
財務活動による キャッシュ・フロー	61	264
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	920	△ 13
現金及び現金同等物の 期首残高	2,347	2,091
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,267	2,077

主要製品の概況 🖓

ポイント 1 資産

総資産は、前期末比15億3千8百万 円減少の332億2千7百万円となりま した。流動資産は、受取手形及び売 掛金が減少したことなどにより、前 期末比9億7千1百万円の減少となり ました。固定資産は、有形固定資産、 投資有価証券がそれぞれ減少したこ となどにより、前期末比5億6千7 百万円の減少となりました。

ポイント 2 負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比12億1千9百万円の減少となりました。固定負債は、長期借入金、繰延税金負債がそれぞれ減少したことなどにより、前期末比3億1千9百万円の減少となりました。

この結果、負債は184億7千5百万円となりました。

ポイント 3 純資産

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末比0百万円増加の147億5千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は41.6%、 1株当たり純資産額は370円60銭となりました。

オレオケミカル製品

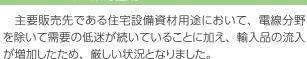
<主な製品>脂肪酸、グリセリン、高級アルコール、金属 石鹸、界面活性剤

界面活性剤や不飽和アルコールについては好調に推移しましたが、グリセリンについては低調となったほか、製品群全体的に原料価格動向の影響を受けて販売単価が下落したため、売上高は前年を下回りました。



可塑剤

<主な製品>フタル酸系可塑剤、二塩基酸系可塑剤、エボキン系可塑剤





機能性化学品

<主な製品>油剤、機能性エステル、水素化関連製品

自動車向け油剤等の需要が減退したことなどにより売上高は前年を下回る結果となりました。



樹脂原料製品

<主な製品>酸無水物、カルボン酸、特殊エポキシ樹脂 合成樹脂原料

電機用途向けについては堅調に推移しましたが、自動車用途においては安価な競合品の攻勢を受け前年売上高を下回りました。

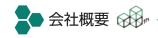


樹脂添加剤

<主な製品>結晶核剤、ゲル化剤

国内向けの販売は引き続き堅調に推移したものの、欧州では受注が減少したため、売上高は前年を大きく下回る結果となりました。





●会社概要 (2019年9月30日現在)

社 名 新日本理化株式会社

設 立 1919 (大正8) 年11月10日

資 本 金 5.660.863.449円

従業員数 326名(単体) 437名(連結)

事 業 所

大阪本社 大阪市中央区備後町二丁目1番8号

備後町野村ビル

東京支社 東京都中央区新川一丁月3番3号

グリーンオーク茅場町

研究所/京都工場 京都市伏見区葭島矢倉町13番地

徳島工場 徳島県徳島市川内町榎瀬1番地

川崎工場 川崎市川崎区浮島町7番2号 堺工場 堺市西区築港新町3丁5番地1

●重要な子会社および関連会社 (2019年9月30日現在)

連結子会社	日新理化株式会社
	アルベス株式会社
	日東化成工業株式会社
	NJC Korea Co.,Ltd.
持分法適用	Emery Oleochemicals Rika (M) Sdn.Bhd.
会社	 台湾新日化股份有限公司

●取締役および執行役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役 藤本万太郎

取 締 役 藤 牧 愼 一 管理本部管掌 專務執行役員 藤 牧 愼 一 管理本部管掌

取 締 役 三 浦 芳 樹 営業部門担当

取締役川原康行企画本部長執行役員

取 締 役 中 村 孝 則 業務本部長

取締役 (常勤監査等委員) 加藤慎治

社外取締役 桜井博文(常勤監査等委員) 桜井博文

社外取締役 織田貴昭(監査等委員) 織田貴昭

執 行 役 員 岡 正 司 生産本部長 ものづくり研究所担当

執行役員鮫島政昭可塑剤事業部長

執 行 役 員 福 田 英 男 オレオケミカル事業部長

執行役員 太田原弘経営企画部長

執 行 役 員 青 柳 賢 治 機能化学品事業部長

(注) 社外取締役桜井博文氏および織田貴昭氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

100周年記念ロゴマーク



創立100周年を迎えるにあたり、記念ロゴマークを制定いたしました。

化学の象徴であるベンゼン環をイメージした六角形を重ねて、「受け継がれてきた技術の結晶」と「積み上げてきた歴史」を表現しています。そんな六角形から浮かび上がる「100」という数字に、100周年という節目と新たなスタートの思いを託しました。



●株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 発行済株式の総数 150,000,000株 37,286,906株 (うち自己株式867株)

6,960名

株主数 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社りそな銀行	1,861,533	4.99
株式会社西日本シティ銀行	1,633,300	4.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,523,200	4.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,253,200	3.36
フクダ電子株式会社	1,199,000	3.22
日 油 株 式 会 社	922,875	2.48
野村貿易株式会社	850,100	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	745,100	2.00
東洋テック株式会社	738,000	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	694,700	1.86

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況



ホームページリニューアルのお知らせ



http://www.nj-chem.co.jp/

100,000株以上~1.000.000株未満

43.68%

当社は、本年8月8日よりホームページをリニューアルいたしました。 より便利でわかりやすく、さらにスマートフォンからも快適にご利用い ただけるホームページとなりましたので、ぜひご覧ください。

Eメールアドレスをご登録いただくと、当社の最新IR情報をEメールで お受け取りいただけます。ご希望の方は、当社ホームページトップ画面 の「IRメールニュース」よりご登録ください。

19.62%

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基 準 日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当3月31日中間配当9月30日

臨時に必要がある場合は、その都度公告いたします。

公 告 方 法 電子公告とし、当社ホームページ (http://www.nj-chem.co.jp/) に掲載いたします。

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経

済新聞に掲載いたします。

单 元 株 式 数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

証券コード 4406

株主名簿管理人特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777(通話料無料)

[受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)]

ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/

◆株式に関するお手続きについて

お手続き内容		お問い合わせ窓口
・氏名、住所の変更 ・単元未満株式の買取・買増請求	□証券会社の□座で株式をご所有の株主様	お取引の証券会社
・配当金の振込先指定 ・その他株式に関するお問い合わせ	特別口座で株式をご所有の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社
・未受領の配当金に関するお問い合わせ ・郵便物に関するお問い合わせおよび再送付のご依頼	すべての株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社

◆特別□座で株式をご所有の株主様へ

特別口座は、2008年末までに証券会社を通じて「ほふり」(証券保管振替機構)に預託されなかった株式について、株主様の権利を保全するために、当社の証券代行機関である三菱UFJ信託銀行に開設した株主ご本人様名義の口座のことです。特別口座は証券会社の口座と異なり、株式の売買ができませんので、証券会社の口座に移管されることをお勧めいたします。また、単元未満株式につきましても、証券会社の口座に振替えることができます。お手続き方法につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

⑥ 新日本理化株式会社





見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。